

専門科目【在宅看護】

授業科目名	在宅看護学特論 V <i>Advanced Studies in Home Care Nursing V</i>		担当教員		
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	30(2)
必修選択	専攻領域必修	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	訪問看護事業所等の開設、効率的な管理・運営および経営戦略について探究する。さらに、在宅看護の効果とその根拠、ケアの質評価とケア効果を高める方法について検討する。				
到達目標	1. 訪問看護ステーションなど在宅ケア事業所の開設方法について理解できる。 2. 訪問看護ステーションの効率的な管理・運営および経営戦略を理解できる。 3. 在宅看護におけるケアの質評価とケア効果を高める方法について検討できる。				
授業計画	1回 訪問看護ステーションの開設と経営戦略(1) 訪問看護に関連する介護報酬と診療報酬および公費負担医療制度の基礎知識 2回 訪問看護ステーションの開設と経営戦略(2) 経営理念と経営目標 3回 看護職が地域で事業を立ち上げることは(1) 開業ナースおよびメッセンジャーナースについて (ゲストスピーカー) 4回 看護職が地域で事業を立ち上げることは(2) 開業ナースおよびメッセンジャーナースの活動の実際について (ゲストスピーカー) 5回 訪問看護ステーションの管理・運営(1) 財務管理と人材育成 6回 訪問看護ステーションの管理・運営(2) 情報管理と安全管理 7回 仮想訪問看護ステーションの開設計画、事業計画の作成(1) 地域特性および訪問看護市場の市場分析について(小林・乗越) 8回 仮想訪問看護ステーションの開設計画、事業計画の作成(2) 訪問看護ステーションの特徴と運営方針、広報活動について(小林・乗越) 9回 在宅看護におけるケアの質評価について考える(1) 質の良い訪問看護とは何か(討議) 10回 在宅看護におけるケアの質評価について考える(2) 訪問看護の質評価とは何か(討議) 11回 看護ケアの質評価の方法 看護ケアの質の評価方法、訪問看護サービス質評価のためのガイドライン 12回 訪問看護の質評価とケア効果を高める方法(1) 演習用に作成した事業所の情報を用いて、SWOT分析演習 13回 訪問看護の質評価とケア効果を高める方法(2) 演習用に作成した事業所の情報を用いて、改善計画立案演習 14回 訪問看護の質評価とケア効果を高める方法(3) 演習用事業所の質評価と改善に向けての提言書作成演習 15回 在宅看護におけるケアの質評価のまとめ				
学習方法	主体的に学習に取り組めるようテーマに関する学生のプレゼンテーションと討議を基本とする				
オフィス アワー					
テキスト	特に指定はしない				

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本訪問看護財団：訪問看護ステーション開設・運営・評価マニュアル新版第3版. 東京, 日本看護協会出版会, 2016. ・ 角田直枝：訪問看護は“所長”で決まる, 東京, 日本看護協会出版会, 2008. ・ 日本訪問看護振興財団：なるほどわかる訪問看護ステーション経営のコツ. 東京, 日本看護協会出版会, 2010. ・ 村松 静子（編集）：開業ナースのエッセンス「暮らし」に伴走する看護のすすめ（こころの科学増刊）. 東京, 日本評論社, 2015. ・ 村松静子（監修）, 甲州優, 武田美和, 川口奏子（編集）：メッセンジャーナース 看護の本質に迫る. 東京, 看護の科学社, 2016. ・ 島内節, 友安直子, 内田陽子：在宅ケアアウトカム評価と質改善の方法. 東京, 医学書院, 2002. ・ Wojiner A.W: Outcome Management Application to Clinical Practice. 2001, 早野真佐子訳, 井部俊子監修：アウトカム・マネジメント. 東京, 日本看護協会出版会, 2003.
評価方法	授業・討議への参加度（50%）、学習への取り組み・プレゼンテーション（50%）